

エッセー

消費税の素顔(問題点)

をいくつか紹介します。

1. 消費税は生活費にも課税し、税負担の逆進性により、貧困と格差を拡大しています。

OECD加盟国中、日本は貧困・格差大国になっています。

2. 消費税は「社会保障・福祉のため」を口実に導入・増税されてきましたが、社会保障・福祉・教育・子育てには使われていません。したがって、これらの国民負担がどんどん増やされています。

3. 消費税は「直間比率の是正」の掛け声で、直接税である消費税を「間接税」に仕立て上げ、直接税(法人税・所得税など)を減税し、「間接税」としての消費税をその減税財源にしています。消費税減税・廃止の財源は直接税を元に戻すことです。

4. 消費税は事業者の売上に課税する売上税です。この売上税は仕入税額控除方式を採用しています。消費税は

消費税を減税・廃止すれば、日本の社会に青空が顔を出す!



消費税をなくす大阪の会常任世話人

税理士 清家 裕さん

売り先からの預り金ではなく、事業者の付加価値に課税する付加価値税です。

5. 消費税には輸出戻し税があり、輸出事業者には輸出還付金が発生します。輸出大企業は莫大なこの還付金を税務署から受け取っています。アメリカでは輸出還付金をリベート(補助金)と呼んでいます。

6. インボイスの導入で免税事業者は課税事業者の選択を迫られ、死活問題になっています。インボイスは消費税率アップによるさらなる増税の仕掛けです。

7. 「消費税 憲法変えれば戦争税」の危険が迫っています。消費税のルーツは世界でも日本でも、戦費調達・戦後復興財源が目的でした。戦争は最大の生活破壊・営業破壊です。

8. 新しいパンフレットを使って、消費税の問題を多くの国民に知らせましょう。消費税の減税・廃止を実現し、貧困と格差を縮小すれば、日本の社会に青空が戻ってくるでしょう。

みんなの声



飯館村で読者拡大

2011年福島原発事故で全村避難が強いられた飯館村。15年が経過した現在も村民の6割強が村外での避難生活が続いています。

昨年9月の村議選で9期目の議席を守った佐藤亜知郎さんが読者になってくれました。佐藤議員も村外の生活が続く、本人となかなか接触することができませんでしたが、ようやく会うことができて購読に。福島県の会は、全国総会まで2000人の読者にすることを目標にしています。あと21人「必ず達成を」とがんばっています。

福島県の会事務局長 服部 雅さん

3人の読者増やしたい

10月の全国総会成功に向けて5300人の最高現勢をめざすため、7月〜9月を読者拡大の「集中期間」として取り組んでいます。

全国の会から210人に世話人さんに「3人の読者を増やしてく

ださい」との訴えを送りました。

訴えを受け取った京都の会の世話人さん。「3人か、あのひとあの人とあの人」と購読を訴える対象者がすぐに思い浮かんだようです。全国の会からの電話にも「声をかけますわ」と元気に応えてくれました。

全国の会事務局

川柳

消費税 減税運動 よろこばれ

埼玉県深谷市 小山 登さん

高市は 戦争国家 夢見てる
排外主義は 幸福の道 とぞす

埼玉県 平 和男さん

時が来た 改憲総理 前のめり

消費税 国民会議 混迷ね

神戸市垂水 加茂 勝治さん

CHIIHIRO CALENDAR

いわさきちひろカレンダー

世界中のこども みんなに
平和としあわせを

このいわさきちひろのねがいをこめて、
いわさきちひろカレンダーは、手から手へ、
心から心へ、ひろがっています。



いわさきちひろ作品普及会